

2024(令和6)年度 部局マニフェスト
～私たちの組織使命と目標～

部局名	市議会事務局
役 職	事務局長
氏 名	松山 英稔
連絡先	0595-22-9687(内線2910)



業績目標の標語(指導者評価)
目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)
目標としていた達成水準に到達した(100%)
わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)
目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)
目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)
目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. —				
広報広聴機能の充実 支援	広報機能の充実	〈これまでの経緯〉 広報広聴委員会において、議会の情報発信について、有効なツールを活用し、特に議会広報紙面の充実を図るため、広報編集研修に参加し編集技術の向上等に努めている。 〈取り組む目的〉 市民との関係構築を図るため、あらゆる情報を発信し、議会への関心を高め、議会活動を理解してもらい、市民との信頼関係を構築する。 〈現状分析〉 広報紙については、市民から意見を頂くこともあり、充実したものとは言えない。 広報ツールとして活用するYouTube、LINEについては、開設している認知度が低く、更なる周知が必要である。 〈課題〉 広報紙については、効率的、効果的な紙面づくりに向けて、編集方針見直しの検討余地がある。 広報ツールの周知については、あらゆる機会を捉えて周知活動等に努める。	〈目標数値〉 YouTube「伊賀市議会チャンネル」登録者数:300人 〈達成された状態〉 議会だより編集方針の見直しを行い、当該方針に沿った広報紙編集が行われている。 議会活動のほか、あらゆる機会を通じて、広報周知活動ができている。 〈手段・工程〉 議会への関心を高め、目標数値の達成に向け、各種事業等の開催情報等を把握し、広報広聴委員会への提案を支援し、協議する。	▶	
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. —				
政務活動費の活用	政務活動費の充当経費範囲等の見直し	〈これまでの経緯〉 平成24年の地方自治法の改正により、名称が「政務調査費」から「政務活動費」に変わるとともに、経費の範囲も拡充されたが、当市の条例は改正されていない現状である。 〈取り組む目的〉 地方自治法の改正を踏まえ、経費の範囲を拡大することにより、政務活動をより行いやすくする。 〈現状分析〉 昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、生活行動も平常時に戻りつつあり、政務活動費の執行率もコロナ禍前に戻りつつあるため、この際、経費の範囲の拡大について見直しを検討する機会であると考えます。 また、政務活動費の運用について、現在の手引き(ガイドライン)では、現状に沿っていない部分もあるため、併せて見直しを検討する必要がある。 〈課題〉 運用面については、様々な判例があることから、調査・研究し、一定の使途基準づくりが必要である。	〈目標数値〉 手引き改訂の完了。 〈達成された状態〉 手引きの改訂により、政務活動費の使途基準が明確になっている。 〈手段・工程〉 条例・規則改正案と共に他市等の使途基準等を調査し、手引きの改訂案を協議等の場で提案し、協議する。	▶	